

ひとわざ(一技)名: コミュニケーションロボット活用技術

1. 概要

拓殖大学は質の高い教員と多くの研究機器、実験設備など知の力を維持しております。産学連携研究センターはこれら知の力を有する本学と皆様方が協力できる場を提供するとともに、その窓口となっております。

今回の展示では、「コミュニケーションロボット活用技術」を2例紹介します。これらについて以下で説明します。

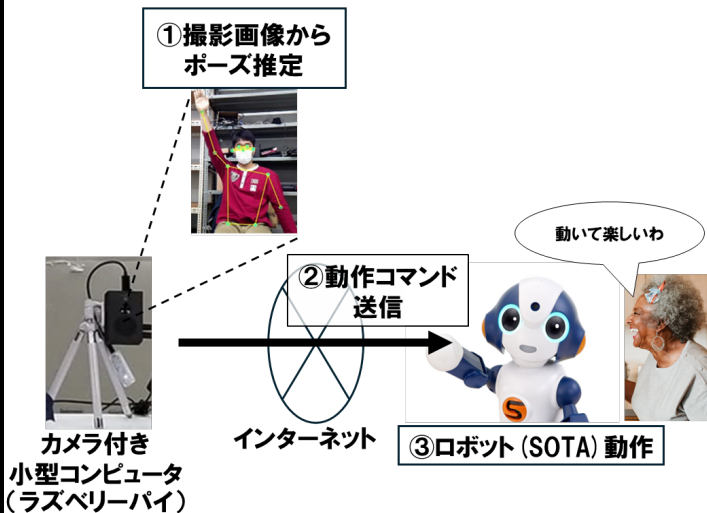
1: ものまね動作ロボット: カメラを活用して上半身の姿勢を検出することにより、コミュニケーションロボットを制御可能です。これにより、自分の動きをコミュニケーションロボットに模倣させることで、遠隔地にいる高齢者等とより親しみのこもったコミュニケーションが可能になります。

2: 双方向対話ロボット: Open AI社の生成AIであるChatGPTとコミュニケーションロボットを組み合わせることにより、リアルタイムの双方向対話が可能になります。これにより、一人暮らしの高齢者等の話し相手となることで、孤独感解消が可能になります。

写真・図(要点説明)

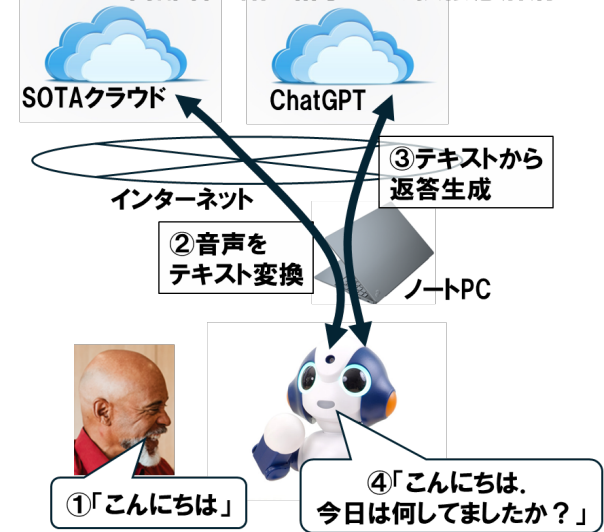
ユースケース例: コミュニケーションロボットによる高齢者支援

遠隔地の高齢者家族とロボット動作によるコミュニケーション



1: ものまね動作ロボットの処理フロー

ロボットが高齢者の話し相手となり孤独感解消



2: 双方向対話ロボットの処理フロー

2. 企業概況

フリガナ	タクシヨクダイガク サンガクレンケイケンキョウセンター	フリガナ	キハラ コウイチロウ
会社名	拓殖大学 産学連携研究センター	代表者名	木原 幸一郎
		フリガナ	ヨシムラ ヤスカ
事業内容	大学と企業・自治体等との連携	窓口担当	吉村 寧夏
主要製品	—		
フリガナ	トウキョウト ハチオウジシ タテマチ		
住所	〒193-0985 東京都八王子市館町815-1		
電話/FAX	042-665-1447 / 042-665-1519	E-mail	y3yosim@ofc.takushoku-u.ac.jp
資本金(百万円)	—	設立年月	2005年10月
		売上(百万円)	—
		従業員数	—

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③SDGsへの取り組み 他

②共同研究、受託研究、技術支援、施設・設備の提供を行っており、毎年、5~10件の共同研究実績があります。興味のある方は、上記メールアドレスもしくは「拓殖大学産学連携研究センター」までご連絡ください。

③拓殖大学では様々な取り組みを行っております。下記URLを参照してください。

<https://www.takushoku-u.ac.jp/summary/sdgs/index.html>